

## \* 労働市場速報（平成28年3月分）について（解説メモ）

### 1. 有効求人倍率の動向等 【表2a】

- 有効求人数（季調値）は、103,887人で、前月比0.3%増となった。
- 有効求職者数（季調値）は、102,946人で、前月比0.2%減となった。
- この結果、有効求人倍率（季調値）は1.01倍となり、前月から0.01ポイントの上昇となった。

### 2. 新規求人倍率の動向等 【表2b】

- 新規求人数（季調値）は、33,974人で、前月比5.8%減となった。
- 新規求職者数（季調値）は、23,331人で、前月比2.2%減となった。
- この結果、新規求人倍率（季調値）は1.46倍となり、前月から0.05ポイントの低下となった。

- 主要産業別新規求人数（原数値～前年同月比）は、運輸業、郵便業（30.4%増）建設業（17.0%増）、製造業（10.9%増）、専門・技術サービス業（7.5%増）、宿泊業、飲食サービス業（3.2%増）、卸売業、小売業（1.7%増）、医療、福祉（1.0%増）で増加した。他の産業は減少した。全産業では前年同月比3.6%の増加であった。【表4】。

### 3. 常用新規求職者の態様別動向等 【表5】

- パートタイムを除く常用新規求職者（原数値）を態様別に見ると、離職者（前年同月比5.3%減）、無業者（同13.1%減）で減少した。在職者（同3.6%増）は増加した。

### 4. 雇用保険受給者の動向 【表6】

- 雇用保険受給者の動向については、3月の受給者実人員は24,537人で、前年同月比4.5%減少した。

#### （雇用情勢の概況）

3月の有効求人倍率（季調値）は1.01倍で前月から0.01ポイント増加。  
求人・求職の動きは、新規求人数（原数値）は、前年同月比3.6%増加、新規求職者（原数値）については、5.1%減少した。

県内の景気は、回復の動きが一服している。雇用情勢については、持ち直している。

■景気判断は日銀横浜支店（4月） ■雇用情勢判断は前月と同じ

今後も、雇用情勢について引き続き注視してまいりたい。